

新生児一過性多呼吸 クリニカルパス 【患者様用】

ベビー様 主治医:

担当看護師:

病日	入院当日～入院 3 日目	入院 4 日目～入院 7 日目	入院 8 日目～入院 14 日目
目標	必要時、酸素または人工呼吸器の補助を受け呼吸が安定する 母乳またはミルクを始めることができる 点滴を行い、低血糖をおこさない 保育器の中で保温し、体温が安定する	保育器の中で安楽に呼吸ができる 口からの哺乳がすすみ、体重が増える ベッドへの移動に向けて体温が安定する、またはベッドへ移動できる	呼吸が安定し、全量口から哺乳ができる ベッドへ移動できる
治療・薬剤	保育器の中で赤ちゃんの呼吸を助けるために酸素または人工呼吸器を使ったり、点滴をします 必要時には抗菌剤の点滴をします 抗菌剤の点眼、ビタミン K(入院当日・生後 5 日目)の注射または内服を行います 必要時に光線療法(黄疸の治療)を行います		呼吸や消化が良くなってくると、酸素や点滴が中止になります
処置	毎朝、体重測定をします 小児科医師が診察を行います		
検査	血液検査・レントゲン・超音波検査などを行います 黄疸や血糖の検査を行います	必要時に血液検査・レントゲン・超音波検査などを行います 生後 5 日目に先天性代謝異常等検査を行います	
栄養	呼吸が落ち着くと栄養が始まります 1 日に 8 回、消化の具合を見ながら量を調整します 口から飲めるようになると、両親で授乳ができます 母乳が出始めましたら搾乳して持ってきてください	口から飲むことができ、消化が良くなると、栄養チューブ・点滴が外れます 搾乳した母乳を母乳パックに入れて持ってきてください	
清潔	入院翌日から体拭きをします 保育器の中を清掃し、タオルを交換します		
指導	赤ちゃんへの触れ方を説明します 搾乳の時間や母乳の運搬方法について説明します おむつ交換や瓶哺乳を見学していただき、一緒に行います 薬剤師からお薬の説明があります		赤ちゃんの退院に向け家の準備などについて確認します
その他	入院当日に入院手続きや面会について説明します。 赤ちゃんの状態によって予定通りではない場合もあります。その都度医師から説明を行いますので不安なことがありましたらスタッフへお声かけください。		